

学 校 名	山形大学教育学部附属中学校 山形市松波二丁目7番3号 TEL 641-4440 FAX 641-4441	校 長	飯 澤 英 昭
		研究主任	小 関 広 明
研 究 主 題	私のいきる 私の学び （2年次）		
主 題 設 定 の 理 由	本校では、56年間受け継がれてきた日常的な教育活動、前研究「学びをひらく 学びをつなぐ」－「おもしろい」生徒たち－の成果と課題、そして学校教育に寄せられる期待とを背景にして、目の前の生徒をどのような生徒に育てたいと願っているかを話し合った。そして、具体的な「めざす生徒像」を次のようにまとめた。 ① 他とのかかわり合いや学び合いを通して、自己の学びを深められる生徒 ② 応答力のある豊かな表現ができる生徒 ③ 思考力を高め、知恵を働かせて、直面する課題や困難に立ち向かう生徒 ④ 自己を正しく評価し、内省を生かして自己実現に努める生徒 こうした私たち教師の共通の願いには、生徒一人一人が生涯にわたって学び続けることに意味を見出し、自ら価値ある学びを構築し自己を高めていこうとする力を育てたいという想いが含まれている。自己の個性が磨かれる価値のある学びが展開されることを目指し、本校研究主題を「私のいきる 私の学び」としたのである。		
研 究 の 目 標	一人一人の生徒が、学ぶことの意味を実感しながら学ぶとともに、仲間と互いに学び合う中で、学びの価値を高めていき、そして、生涯にわたって学び続けようとする生徒を育てる学校教育の在り方と授業改善の方法を探る。 そのために、目指す生徒像に迫るためのキーワードを立ち上げて、実践を通して追究していく。		

研究の仮説	各教科の必修と選択、総合学習 L I V E の授業を中心としながら、それぞれの関連を図って本校の教育課程を編成することによって、目指す生徒の育成に迫ることができるだろう。また、立ち上げるキーワードからの授業の改善によって「私のいきる 私の学び」を追究する生徒の育成をできるであろう。
研究の内容と方法	1 授業改善の実践研究 各教科の授業実践を積み重ね、生徒の学びの姿を見取って、全員で協議し、研究を深めていく。山形大学教育学部教官と連携しながら研究を深める。さらに、公立中学校の先生方から校内授業研究会に参加していただく。 2 教育課程の実施の工夫 教務部と共に、研究主題に迫るための教育課程の実施の仕方の工夫を検討し、特に、選択教科の設定と実施について工夫改善していく。 3 評価の工夫 生徒一人一人の学びを、適切に評価し支援に生かしていくための工夫と、その結果の通知の仕方を検討していく。
研究計画	4月 研究組織・活動方針と年間計画 5月 助言者、研究協力者、共同研究者と今年度の研究のすすめ方に関する打合せ会 7月 授業研究会 7 / 1 1 (金) 美術 / 音楽 夏季ゼミ 7 / 2 5 (金) ≪公開研究会について≫ 9月 「附中通信」「リーフレット」の発行 10月 「教育実践」「公開研要項」「研究紀要」の発行 1 0 / 3 1 (金) 公開授業研究協議会 1 年 音楽、技術・家庭 / 必修教科 国語、数学 / 選択教科 2 年 社会、理科、英語、美術、保健体育 / 選択教科 3 年 国語、社会、数学、理科、英語 / 必修教科 11月 2 年次の公開研究会の総括 12月 授業研究会 1 月 3 年次への課題追究と実践 2 月 3 年次公開研究会概要の協議